

令和8年度第10回北理研マルチ研拡大実験研修会実施要項

開催趣旨

設備・予算・人員等の関係で、思うように実験ができない環境の学校も多いと思います。また、映像教材も増えてはいますが、やはり実地で学び自らの感動を生徒に伝えたいとの要望が多く、多くの研修会で寄せられています。そこで、北海道全体の理科教育の質向上のため、今までマルチメディア研究委員会の委員のみに行っていた実験研修会を拡大し、理科教育に携わる全ての方を対象とした実験研修会を企画しました。主な内容は、高校化学を網羅する160種の化学実験を実地で体験するものとし、先人が残したノウハウとそこに付け加えられた新たな工夫を紹介し、各校で生徒のために実践して頂きたいと考えています。日本全体での生徒数減少は止まることは無く、無償化、通信制の躍進、実業高校・高専の復権が顕著に見られ、淘汰される高校が増えていきます。また、大学も250校減の政策が示されました。生き残る高校は、本物で学ぶ授業を行う先生がいるところではないでしょうか。本研修会は毎回30名以上の参加者を得ています。ぜひ、よりよい学習指導をするために新教材と教え方のノウハウを生徒のために獲得してください。

主 管 北理研マルチメディア研究委員会

期 日 令和8年10月11日（日） 12:45～16:20

会 場 立命館慶祥高等学校 2階 化学実験室

講 師 北理研マルチメディア研究委員会 代表 立命館慶祥高等学校 名誉マイスター 杉山剛英

実験内容

1. 「ラウールの法則」

①エーテルと1-ブタノールの混合溶液で蒸気圧降下を測定 ②蒸気圧降下による溶媒移動

2022年東レ理科教育賞受賞実験

2. 「モール法」

①モール法で水道水、白醤油の塩分を測定 ②フォルハルト法で Ag^+ イオンを定量

3. 「無機指令実験」

①22種の無機呈色・沈殿実験

4. 「ケイ素」

①ガラスの電導性 ②ケミカルガーデン

5. 「リン」

①赤リンを乾留して黄リン合成 ②赤リンと塩素酸カリで紙雷管

申し込み 杉山までメールをお願いします。barkhorn_x@yahoo.co.jp

締め切り10月9日（金）。理科教育に携わる方であれば、どなたでも参加できます。

今後の開催予定 第11回・11月28日（土）

特設回（特に人気の高い実験を再度実習）・1月10日（日）

情報交換会 18時15分よりすすきの・LUGARにて情報交換会を行います。会費¥5200。

参加の方はメールに記載して下さい。